廃棄物処理団体懇話会研修会

シーニックバイウェイ北海道における
環境配慮の取り組み

平成28年1月21日

一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター代表理事
原　文　宏

Scenic Byway HOKKAIDO

アウトライン

Scenic Byway HOKKAIDO

- ●シーニックバイウェイ北海道の概要
- ●ドライブ観光と地球環境
- ●活動団体による沿道景観整備
- ●企業との連携活動

1. シーニックバイウェイ北海道の概要

Scenic Byway HOKKAIDO

HOKKAIDO®

シーニックバイウェイ北海道推進協議会
http://www.hkd.mlit.go.jp/sbh/
シーニックバイウェイ支援センター
http://www.scenicbyway.jp

シーニックバイウェイ北海道スタートの背景

Scenic Byway HOKKAIDO

- ➢「道の駅」人気、スタンプラリー応募５万人！　（1993年～）
  ～ドライブ観光の地域経済への波及効果
- ➢北海道総合開発計画の策定（1996年）
  ～北海道が全国に先駆けてできることは景観と観光！
- ➢北海道観光が団体型から個人型へ(2000年頃)
  ～レンタカー需要の増大（一般国道網の整備、道の駅の充実等）
- ➢沿道環境の荒廃（休耕田、シャッター商店街等）
  ～地方部の活力衰退と景観の荒廃
- ➢米国シーニックバイウェイ（１９９０年代～）
  ～地域発案、地域主体。行政は黒子でBackup
  ルートコーディネーターの存在
- ➢様々な地域活動の増大
  ～植樹、花植え、清掃活動などNPO,ＶＳＰの拡大

国土交通省北海道開発局作成資料

「シーニックバイウェイ北海道」と「日本風景街道」の成立経緯

Scenic Byway HOKKAIDO

2003.2　北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会（現：国土交通省北海道開発局設置）
モデルルート（2ルート）において実験的活動を開始
制度・進め方・支援策の検討

2005.3　シーニックバイウェイ北海道推進協議会設立
2005.5　認定制度開始（認定ルートと候補ルート）
2005.7　シーニックバイウェイ支援センター設立

2005.12　日本風景街道（Scenic Byway Japan）戦略会議設置
（現：国土交通省道路局設置）
2007.9　日本風景街道登録開始
（全国で130ルートが登録。H25.3.27現在）

2012.8　NPO法人　日本風景街道コミュニティ発足

シーニックバイウェイの名称

Scenic Byway HOKKAIDO

「シーニック（Scenic）」 ← シーン（Scene）・風景

「バイウェイ（Byway）」 ← わき道・寄り道

「シーニックバイウェイ」名称決定の理由（制度検討委員会）

- ◇ 地域の方々が愛着、誇りを持ち、地域全体のホスピタリティを向上させる取り組みの概念を表す日本語がなく、全く新しい概念。
- ◇「byway」の意味、「地域に立ち寄ってもらう」という意図が大切。
- ◇ 今後増大が見込まれるアジア圏外国人観光客に対し、英語表記できる方がＰＲが容易。

シーニックバイウェイ北海道の目標、目的、そして活動

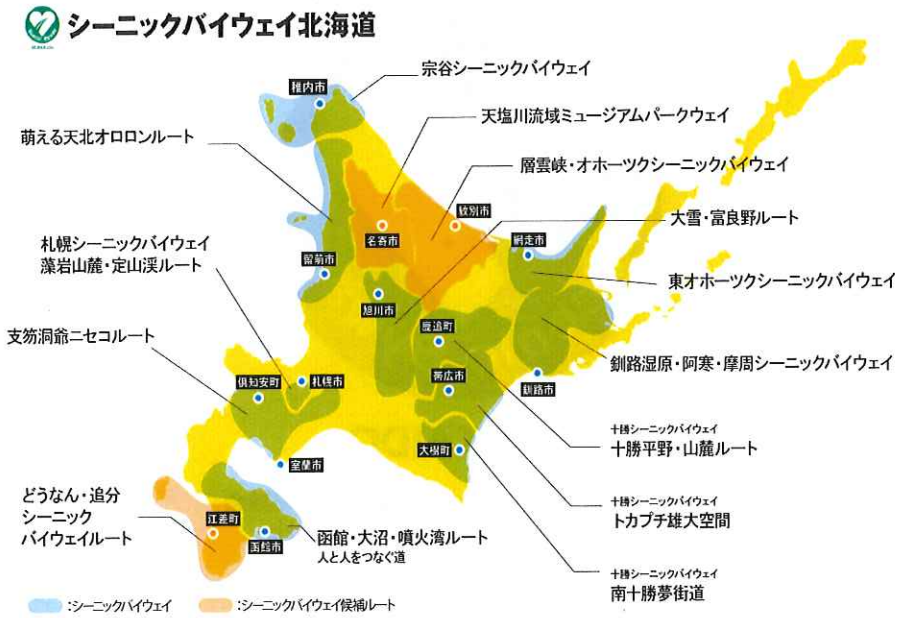
Scenic Byway HOKKAIDO

「シーニックバイウェイ北海道」の目標は
<u>競争力のある美しく個性的な北海道を実現する。</u>
そのために
- ●交流人口の拡大し、
- ●地域産業を振興して、
- ●地域における雇用の拡大する。

<u>具体的な活動は！</u>
'みち'をきっかけとして、
地域の方々が主役となって、
'行政や企業などと連携しながら、広域的に
「美しい景観づくり」
「活力ある地域づくり」
「魅力ある観光空間づくり」
に取り組みます。

シーニックバイウェイ北海道の「指定ルート」と「候補ルート」

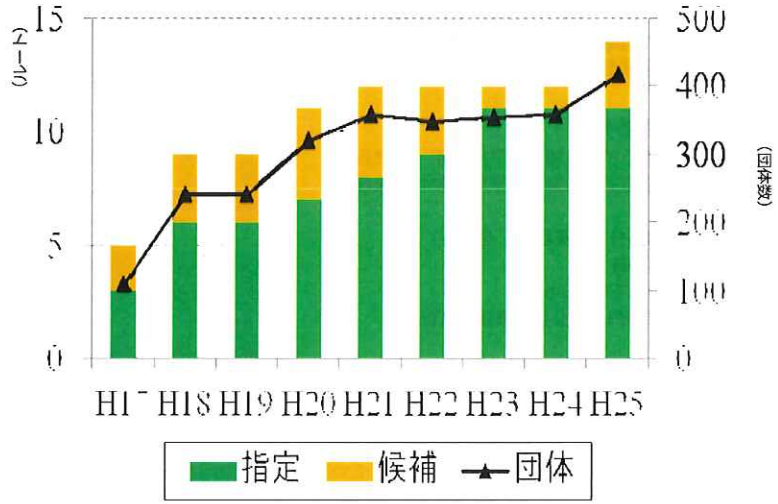
Scenic Byway HOKKAIDO



シーニックバイウェイ北海道の指定・候補ルート数等の推移

Scenic Byway HOKKAIDO

【ルート数、活動団体数の推移】



認定ルートが増えました！！

Scenic Byway HOKKAIDO

どうなん・追分シーニックバイウェイルート　北海道

■地域のねらい

テーマ:「ひと」と「みち」がつなぐ北の大地の地域再生力へのチャレンジ

・北海道新幹線開業により新たな交流人口の拡大が予想される今、「ひと」と「みち」の繋がりをより活動に反映させ、活力ある地域再生へチャレンジします。そして、現存する地域の宝物を連携させることにより、付加価値をつけ、観光資源にする等、自らが誇りうるものとして積極的に取り組んでいきます。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・西渡島及び南檜山地域に位置するルートで、国道227・228・229号、道道江差木古内線、江差と奥尻を結ぶ海路などの沿線9町のエリアで構成されています。

～地域資源～

・勇壮な日本海に浮かぶ奥尻島や大島・小島、幻想的な漁火が凛う津軽海峡、道南杉やヒバやブナが茂る千軒岳など北海道でも特有の魅力あふれる自然と景観が残されています。

・北海道でも最も歴史的な変遷があった地域であるため、数多の歴史的な人物・文化資産を有しており、それらに絡めた伝統イベントやお祭りが各地で実施されています。

・北の大地と海に育まれた農海産物は新鮮美味で、地場産品を活用した地域特有のグルメなどもあります。

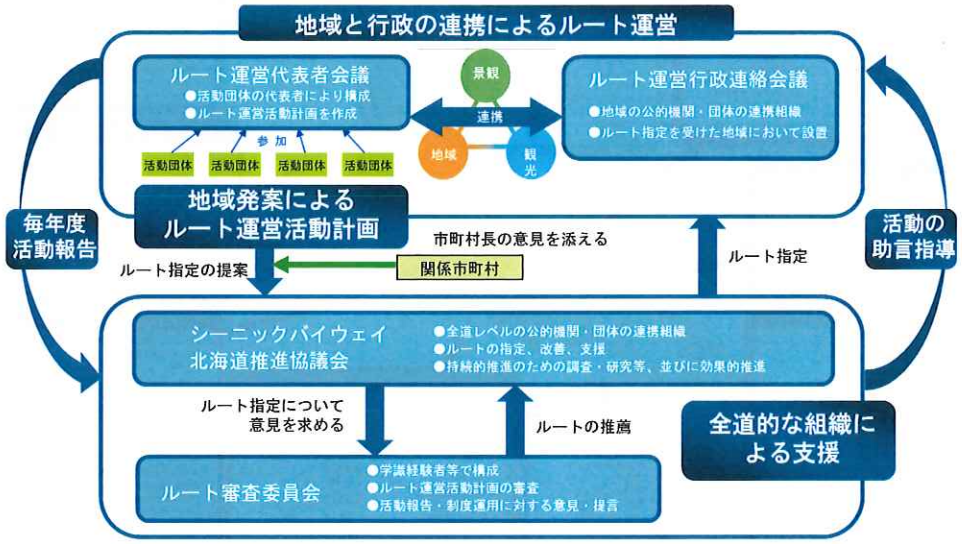
■地域の活動推進体制

「ルート運営代表者会議(活動団体27団体)」
「行政連絡会議(国土交通省、北海道、関係市町村)」

■地域資源、活動内容

地域発案型、行政参加型のシステム

Scenic Byway HOKKAIDO



シーニックバイウェイ支援センターの概要

Scenic Byway HOKKAIDO

一般社団法人

シーニックバイウェイ支援センター(略称:リソースセンター)

Scenic Byways Resource Center, Japan

設　　立 ： 2005年7月1日(平成23年、一般社団法人に移行)

目　　的 ： 日本におけるシーニックバイウェイの持続的推進・普及・発展を支援

事業内容 ：

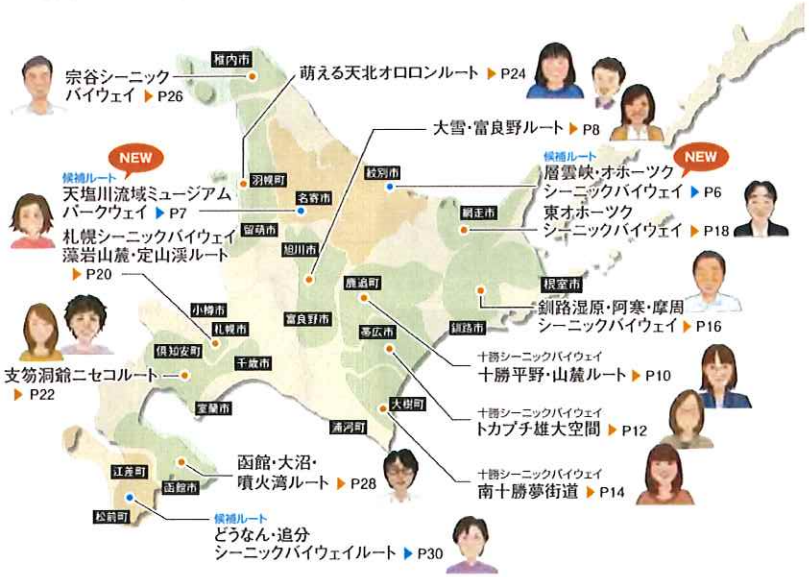
1 シーニックバイウェイに関わる情報共有・発信・連絡
2 シーニックバイウェイに関わる各種調査・研究
3 シーニックバイウェイに関わる広報・プロモーション
4 シーニックバイウェイに関わる人材育成・教育・資格認定
5 各種団体の連携を促進するためのコーディネーション
6 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

ホームページ

ルート活動とコーディネーターの配置

Scenic Byway HOKKAIDO

各ルートのNPO等が中心となり、ルートに配属されるコーディネーターとともに、様々な取り組みを展開しています。



シーニックルートと道の駅「ドライブマップ」の発行

Scenic Byway HOKKAIDO

【内　　容】シーニックバイウェイ北海道 指定ルートのおすすめスイーツ情報、ドライブ情報掲載。

【発行回数】年1回/2008年～

発行：一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター

料金：1冊　200円（マップ提示での割引サービス付き）

【販売箇所】道内「道の駅」、シーニックバイウェイ関係施設、フェリー等

製作費（20000部）
130万円

ドライブ観光総合情報誌 「ScenicByway」の発行

Scenic Byway HOKKAIDO

■情報誌 ScenicByway製作・発行

【概要】

○シーニックバイウェイ北海道の指定・候補14ルートへの来訪を促すドライブ観光総合情報紙として、「地元おすすめのドライブルート」「滞在・体験メニュー」「旬の食事」「旅の思い出になるお土産」等の地域情報を発信。

vol.15夏-秋号　ドライブ＆朝

vol.16冬-春号　ドライブ＆音

【今年度の事業概要】

○vol.15夏-秋号「ドライブ＆朝」：平成27年 7月発行

○vol.16冬-春号「ドライブ＆音」：平成27年12月発行

■発行回数：年2回発行　（夏秋号・冬春号）

■発行部数：各11万部

■仕　様　：A5サイズ×４０ｐ

■発行費用：約500万円　（公益事業費＋広告）

【発　　行】北海道ドライブ観光コンソーシアム

【編集・制作】シーニックバイウェイ編集・制作実行委員会

【協　　力】一般社団法人　北海道開発技術センター

一般社団法人　シーニックバイウェイ支援センター

【編集協力】シーニックバイウェイ北海道14ルート

＜読者層＞

・30～60代のドライブ観光客（道内・道外）

＜配布先＞

◆道内：道の駅、道内主要レンタカー営業所窓口、高速道路サービスエリア、北洋銀行・北海道銀行本店・全支店、東日本フェリー道内営業所窓口、観光案内所、ガソリンスタンド、ホテル、商業施設等

◆道外：道南自動車フェリー、商船三井など、北海道と本州を結ぶフェリー船内・道外営業所、エアドゥ羽田空港支店、成田空港、どさんこプラザ（有楽町）などの北海道アンテナショップなど

全国で137のルートが登録！　年々、増加している。（2015年末現在）

マップは、平成24年8月31日現在

シーニックバイウェイ北海道の活動

Scenic Byway HOKKAIDO

■ シーニックバイウェイ北海道で行われている主な活動

美しい景観づくり

活動団体や地域間の連携などにより、沿道景観をより魅力的にする活動。

沿道看板の見直し

- 植栽活動による広域的な花ロードづくり
- 現地調査によるルート内の沿道景観診断
- 地域資源の広域的視察・発掘調査
- 広域的な看板の撤去・集約化や統一性のある看板整理の提案
- ビューポイントの調査・維持管理

活力ある地域づくり

地域資源を生かしたまちづくりの勉強会など、地域の誇りを育む活動。

エリアガイド育成事業

- まちづくりのシンポジウムや講演会などの開催
- 沿道景観をテーマにしたフォトコンテストの実施
- 歴史的建造物など、地域資源を生かしたまちづくりの勉強会
- 外国人旅行者へのホスピタリティ向上のための英会話講座
- 周遊ルートづくりや気軽に立ち寄れる案内所の開設

魅力ある観光空間づくり

旅行者の満足度向上を目指し、観光メニューの創出、イベントの実施、情報発信など。

観光メニューの創出

- 地域を再発見、紹介するツアー、イベントの開催
- 冬のビューポイント、冬の観光メニューの調査・開発
- ビューポイントを紹介したフリーペーパー、マップ、ホームページ、英語版ガイドブックなどの作成
- メーリングリストによる活動団体の情報共有、意見交換

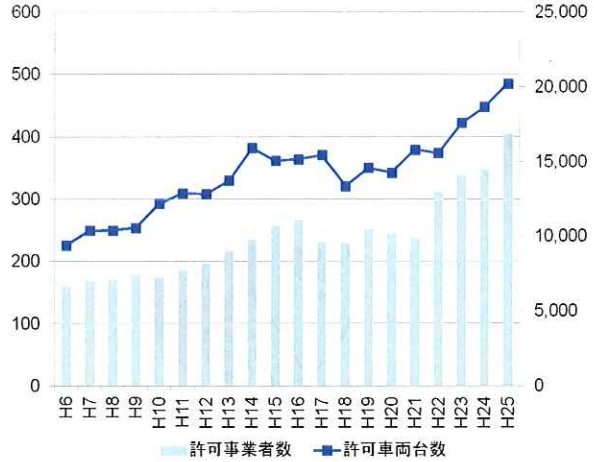
1. ドライブ観光と環境

Scenic Byway HOKKAIDO

レンタカー事業者の概要（H25.3まで）

（国土交通省）

【レンタカー事業者数・保有台数（乗用車）】



上記の許可車両台数は、乗用車のみ

【H25都道府県別レンタカー保有台数】

	都道府県	台数（台）	シェア
1	東京	21,665	7.9
2	北海道	20,209	7.4
3	愛知	19,452	7.1
4	沖縄	18,908	6.9
5	大阪	16,217	5.9
	……		
43	鳥取	1,391	0.5
44	高知	1,331	0.5
45	佐賀	1,285	0.5
46	徳島	1,279	0.5
47	島根	1,210	0.4
計		273,466	

出展：国土交通省北海道開発局資料

国土交通省北海道開発局作成資料

訪日外国人のドライブ観光の状況

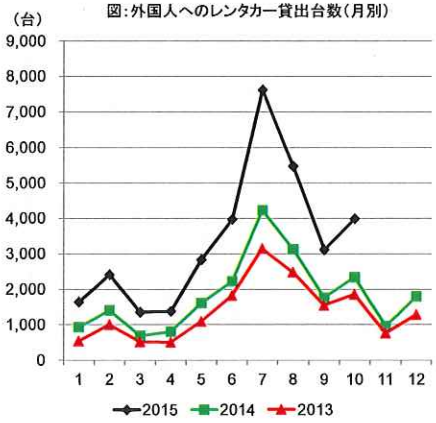
Scenic Byway HOKKAIDO

・北海道を訪れる外国人の増加、ドライブ観光ニーズの拡大により、外国人へのレンタカー貸し出し台数も好調に増加

図：外国人へのレンタカー貸出台数（年別）

※2008年前後で調査方法が異なっている
※2015年は、10月までの累計

図：外国人へのレンタカー貸出台数（月別）



出展：北海道地区レンタカー協会

国土交通省北海道開発局作成資料

訪日外国人のレンタカー利用の現状

Scenic Byway HOKKAIDO

・大多数は、札幌周辺にある観光地、ショッピング施設を訪れているが、一部には地方のレアな観光地を訪れるケースも見受けられる

図：主な立ち寄り施設（宿泊施設除く）

施設名		立ち寄り台数
（観光地）	小樽運河	54台
（ショッピング）	千歳アウトレットモールレラ	37台
（ショッピング）	マックスバリュ	34台
（ショッピング）	三井アウトレットパーク	31台
（テーマパーク）	白い恋人パーク	20台
（ショッピング）	コープ札幌	15台
（ショッピング）	ツルハドラッグ	13台
（ショッピング）	ユニクロ	12台
（テーマパーク）	登別伊達時代村	12台
（ショッピング）	ウイングベイ小樽	10台

図：レアな立ち寄り施設（宿泊施設除く）

施設名	
（観光地）	幸福駅
（観光地）	青い池
（ショッピング）	●●牧場
（観光農園）	ファーム●●

認知度を高めることで、地方にも外国人を呼び込めるチャンス

国土交通省北海道開発局作成資料

訪日外国人ドライブ観光客の消費額

Scenic Byway HOKKAIDO

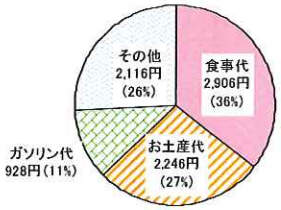
シンガポール（団体型）

全消費額（1組当たり） 約129,375円

（ただし、平均同行者数 2.7人 滞在泊数 6.7泊）

一人一日あたり 約7,143円

（食事、土産、ガソリン代等（航空運賃、レンタカー代、宿泊代含まず））



（内 訳）

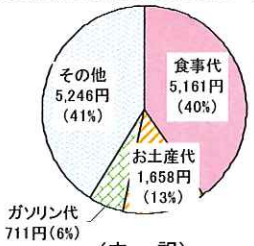
香港（個人型）

全消費額（1組当たり） 約132,696円

（ただし、平均同行者数 2.7人 滞在泊数 4.8泊）

一人一日あたり 約10,243円

（食事、土産、ガソリン代等（航空運賃、レンタカー代、宿泊代含まず））



（内 訳）

国土交通省北海道開発局作成資料

外国人観光客へのドライブ支援

Scenic Byway HOKKAIDO

英語音声機能を搭載した
カーナビゲーション

ＧＰＳ携帯電話による位置情報検出

マップコードを活用した外国人向け英語パンフ

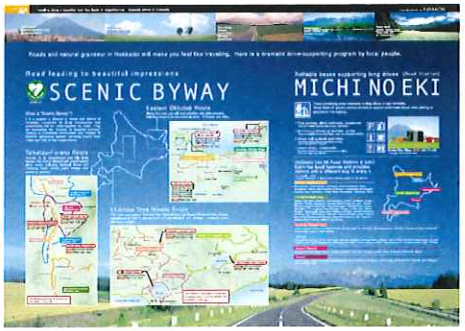
外国人ドライブ観光客へのプロモーション

Scenic Byway HOKKAIDO

外国人観光客 *シンガポールからのドライブツアー*

シンガポールでのツアー募集広告

ツアーにあわせた調査結果の一部はHPでも公開
http://www2.ceri.go.jp/mt_test/archives/000213.html



活動団体と連携した着地型観光メニュー開発

Scenic Byway HOKKAIDO

武道（剣道）体験

餅つき体験

植樹

着付・生花体験

女将のお出迎え

雪道運転体験

ドライブによる観光振興は、地球環境に悪いのでは？

Scenic Byway HOKKAIDO

ドライブ観光支援に賛否

道路景観の整備
札幌で推進 期待

団体職員 松島 幸和（札幌市中央区・57歳）

二十一日の札幌市内版によると、南区の芸術の森地区町内会連合会が、地区内を貫く国道からの景観などを地域振興に生かす「シーニックバイウェイ北海道」の指定を目指して、学習を進めているという。

シーニックバイウェイは、地域と行政が道路を軸に連携し、景観整備や観光振興を目指す取り組みで、開発局や経済団体、選ばれてつくる推進協議会が指定する。これまで「大雪・富良野」など四ルートが指定されており、いずれも北海道らしい景観や自然を誇っている。

今回、札幌市内で初の指定を目指すルートのエリアには、芸術の森をはじめ豊野すずらん丘陵公園など自然を生かした施設もあり、ほかのルートと趣の違う「都市型ルート」になりそうだ。

住民有志の勉強会でも多彩な意見が出、今後さらに、定山渓など温泉地区との連携も視野に入れ、指定を目指すというとだが、その実現に大いに期待している。

出版：北海道新聞（平成18年10月30日）

会社員 堀江 忠夫（ほりえ ただお）

観光ドライブ推奨に矛盾

国土交通省北海道開発局は、地域経済活性化策として発用、レンタカーによる観光ドライブ促進を、自治体や観光関係、地域住民団体に呼びかけ、道内外からの観光客誘致のためシーニックバイウェイ北海道」を昨年三月に開始している。

内容は、道内観光客を西ルートに分け、役場を拠点とする、あるいはゴミの除去などを行う、清掃的のドライバー地図を見込む。早い話が、ドライバーによる消費を期待し、地域を活性化することが目的とみられる。

しかし、大変な矛盾がある。日本政府は、二〇一〇年までに一九九〇年比で二酸化炭素（CO2）排出量6%の減少を目指す京都議定書に調印した。観光庁は、官内の観光関係者をCO2削減のPRに活用しようとしている。

ドライブ観光は、一人一台の自動車を使用するとCO2の増加を招く。二酸化炭素の排出量を増やす可能性もある。

政府機関の調査によると、自動車の排出量は、運輸部門全体の二割を占めるとされ、自動車一台当たりの排出量は、鉄道の十倍以上。

観光庁は、「地球温暖化対策の一環として、自動車の使用を控えるよう呼びかけている」とする。

私の発言

政府機関で唱う、観光庁の矛盾を持つ国交省が、CO2を大量発生する車の使用を推奨するとは、政策選定者の公約を疑わざるを得ない。

農林水産省の資料によると、ガソリン一リットル当たりの平均が五四一グラムを走行した場合、二・三キロのCO2を排出する。

投書は、〒101-8952（住所不要）北海道新聞社編集「私の発言」係へ、電子メールはsoudan@hokkaido-np.co.jp

出版：北海道新聞（平成18年11月1日）

カーボンオフセット型ツアーの実施

Scenic Byway HOKKAIDO

453（ヨコ゛サン）キャンペ゜ーンと植樹

【H19.10.28 読売新聞（朝刊）】

2007サミット開催地「洞爺湖」を
エコドライブを楽しむ旅

外国人ドライブ観光客の植樹

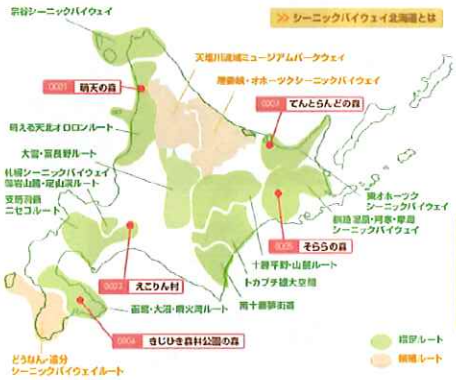
カーボンオフセット型観光の推進「シーニックの森」

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイ支援センターは、2008年5月12日にシーニックバイウェイ推進協議会より「シーニックの森」の認定機関の指定をうけ、シーニックバイウェイ北海道の各ルートから申請を受け「シーニックの森」として確認を行うほか、「カーボンオフセットのための植樹を行いたい方」「シーニックの森づくりに参加したい方」「カーボンオフセット型のツアーを企画されている方」への対応を行っている。
H26.1現在5つのシーニックの森が登録されています。

レンタカードライブで排出されたCO2の削減を目的とした「シーニックの森」への代行植樹。
期間中に、ご利用頂いた方には、「シーックバイウェイ・カーボンオフセット証明書」を発行。

実施期間：2010年7月1日(木)～8月31日(火)

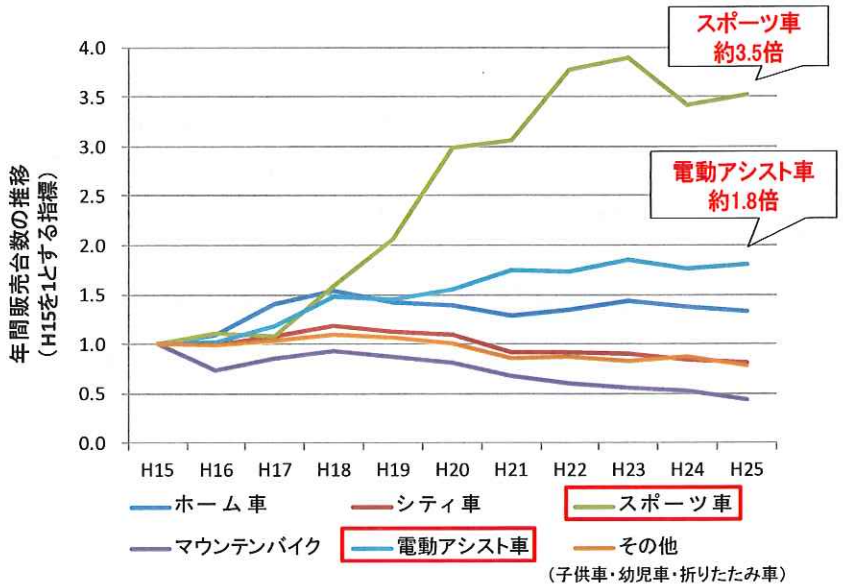


ニッポンレンタカー北海道
トヨタレンタカー札幌との連携
（2009.1からの継続）

トヨタレンタリース札幌との連携
（ワンコインオフセット）

エコなモビリティによる観光（サイクリング、ウォーキング等）

Scenic Byway HOKKAIDO



【出典：(財)自転車産業振興協会 自転車国内販売動向調査】

外国人観光客のサイクリングツアー

Scenic Byway HOKKAIDO

3. 活動団体による沿道景観整備

清掃ツアー

Scenic Byway HOKKAIDO

○ツアーコンセプト

2008年北海道洞爺湖サミットまで1年
みんなで洞爺湖周辺をきれいにして、
おもてなしの準備をしましょう！

○開催日

平成19年 9月 9日(日)

○ツアー参加者数（乗車人数）

・36名

○ツアー参加費

大人 2,000円 (内500円がオフセット費)
小人 1,500円 (内500円がオフセット費)

○植樹種

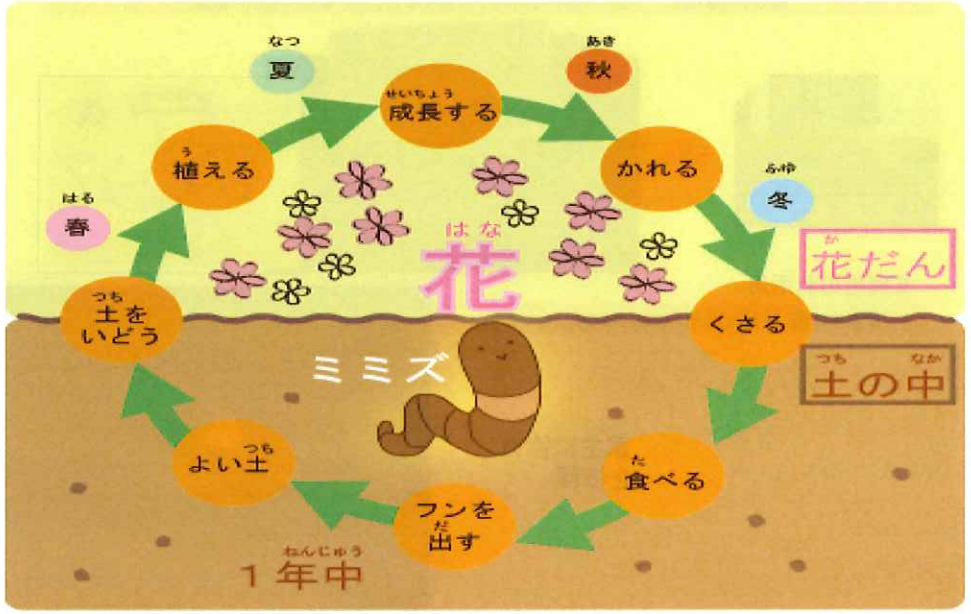
はこだて花かいどう（函館大沼噴火湾ルート）

Scenic Byway HOKKAIDO

～「花と緑のまちづくり」をテーマに地域住民と協働で花植え活動を実施 ～

花かいどうの循環型の活動

Scenic Byway HOKKAIDO



Scenic Byway HOKKAIDO

①黄色い三角柱看板が景観を阻害している

地域市民委員会に依頼、撤去

②現存しない会社の看板

家主に撤去協力依頼

Scenic Byway HOKKAIDO

③景観を阻害している看板

広告主に依頼をし撤去

④景観を阻害している廃屋

家主に撤去協力を依頼

活動団体による不要な看板の撤去

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイ北海道洞爺ニセコルート洞爺湖エリア

洞爺湖エリアにおける
看板撤去手法のモデル事例作成に係る調査研究事業

看板設置者の皆様へ
ご不要な看板を無料で撤去します！

シーニックバイウェイ北海道洞爺湖エリアでは、そうべつくだもの村が主体となり、道路沿道景観を向上させる取組を平成15年度から行っております。
この度、西胆振4市町の皆様を対象としてご不要になりました看板を無料にて撤去、廃棄し沿道景観の向上を図ることとしました。
ご不要で撤去をお考えでありましたら是非ご連絡下さい。

対象：看板設置者（行政、民間を問いません。）の申し出による看板
新旧問わず、設置者が不要と判断し撤去することに同意したものに限る。

条件：申し込みいただきました看板について当方にて現地調査を実施し、
撤去可能と判断した看板のみとします。看板の基礎部分は撤去できません。
また、撤去時における設置者様の立会をお願いします。
なお、撤去に係る費用は当方にて負担します（廃棄料等含む）。

期間：平成20年2月29日までの申し込みまでを対象

申込方法：申し込み者の住所、氏名、連絡先、撤去希望看板の場所がわかる資料
をご提出下さい（任意様式で可）。

申込先：　特定非営利活動法人そうべつ観光協会
電話：０１４２－６６－２７５０　FAX：０１４２－６６－２７５１
E-mail　sobetu-k@smile.ocn.ne.jp
〒052-0101　有珠郡壮瞥町字滝之町３８４－１　そうべつ情報館内

シーニックバイウェイ北海道とは？
シーニックバイウェイ北海道とは、道路沿道景観を向上させることにより、道路利用の来遊者増加による地域観光振興を図る施策です。この取組は平成15年度よりスタートしてます。

実施団体：そうべつくだもの村、特定非営利活動法人そうべつ観光協会、そうべつエコミュージアム友の会

本事業は、(社)北海道開発技術センターの平成19年度「沿道の環境を守り、活動する団体との共同研究事業」の助成を受けて実施しております。

集約看板に関する実証実験

Scenic Byway HOKKAIDO

「民間活動団体による集約看板の試行的設置」

シーニックバイウェイ活動団体　そうべつくだもの村他

【これまでの経緯】
- そうべつくだもの村統一看板の設置（H15）
- 不要看板の撤去　計14基（H16）
- 西胆振４市町全域の看板設置状況調査（H17）
- 集約看板設置に関する検討、試行的実施（H18）

統一看板の設置

不要看板の撤去

地域住民による検討

実際に設置された集約サイン

【集約看板設置に向けた流れ】
- ○くだもの村と各企業との間で協定締結
  - ・企業等は、年額２万円の維持管理費で契約
  - ・うち一部はシーニック活動運営費に充てる
- ※モデル設置期間として５年間の限定設置

【新たな仕組みに向けて】
- ○「くだもの村景観協定」策定に向けた検討

撤去看板や廃屋の有効利用

Scenic Byway HOKKAIDO

⑤撤去看板の利活用

撤去した看板を･･･地域PR用に修正し、景観を阻害しない新たな場所に設置

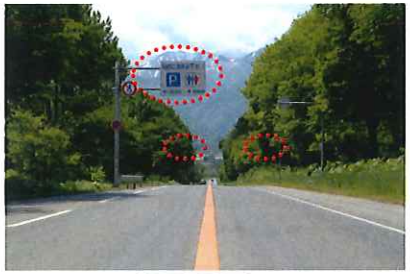
⑥廃屋の利活用

廃屋を改装して新たにカフェ＆レストランとして活用

家主に協力を依頼

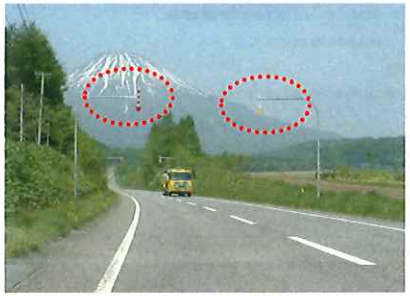
道路施設の改善（看板、矢羽根）

Scenic Byway HOKKAIDO



現　況

施工イメージ



道路施設の改善（防雪柵）

Scenic Byway HOKKAIDO

◆収納型防雪柵への更新による景観向上

礼文島リボンプロジェクト（宗谷シーニックバイウェイ）

Scenic Byway HOKKAIDO

ルートの一員としての行政が、持続可能な取り組みとして、2011年から「礼文島リボンプロジェクト」として、観光客などにバッジを購入していただき、得られた収益を景観保全等に活用しようという取り組みを開始

【場　所】礼文島内
【主　催】礼文町観光協会

【公益的】

礼文島リボンプロジェクト基金（万円）

とかちイエローリボンプロジェクト　～十勝街道を黄色でつなぐ～

Scenic Byway HOKKAIDO

とかちイエローリボンプロジェクトは、2009年からスタートした、帯広競馬場など十勝管内の遊休地の資源作物（菜の花・ひまわり）栽培による景観創出および循環型社会の構築を目指すプロジェクトです。また、地域住民にひまわりの種を配布し、秋に種を回収するシステムを構築しています。

十勝シーニックバイウェイでは同プロジェクトと連携し、ルート内の遊休地や施設敷地にヒマワリを植えて十勝街道を黄色でつなぐ活動を行っています。

今後の目標としては、十勝シーニックバイウェイルートを黄色い資源作物で彩り、新たな景観創出と種を回収できるシステムを構築し、地域で取り組める循環型システムを構築したいと思っています。

採種油「バンバオーレ」

ヒマワリ咲く黄色い街道夢見て一

イエローリボンプロジェクト
競馬場周辺にも

バンバイウェイ
3ルートで種まき

畑のオーナーを募る「バンバオーレ・クラブ」を運営し、会費の一部を「ぱんえい振興」に還元しています。

エキノコックス駆除キャンペーン（支笏洞爺ニセコルート）

Scenic Byway HOKKAIDO

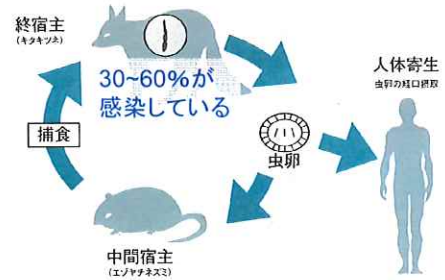
エキノコックス（＝人間への被害）

寄生虫の一種

キツネとの接触や、キツネのフンを介して、卵がヒトの体内へ入ることで感染する

潜伏期間が10年ほどあり、肝機能障害などを引き起こす。外科的切除が唯一の治療法だが、完全切除が困難なことがある

なによりも予防が重要！



ステッカーを購入して駆除に協力できる

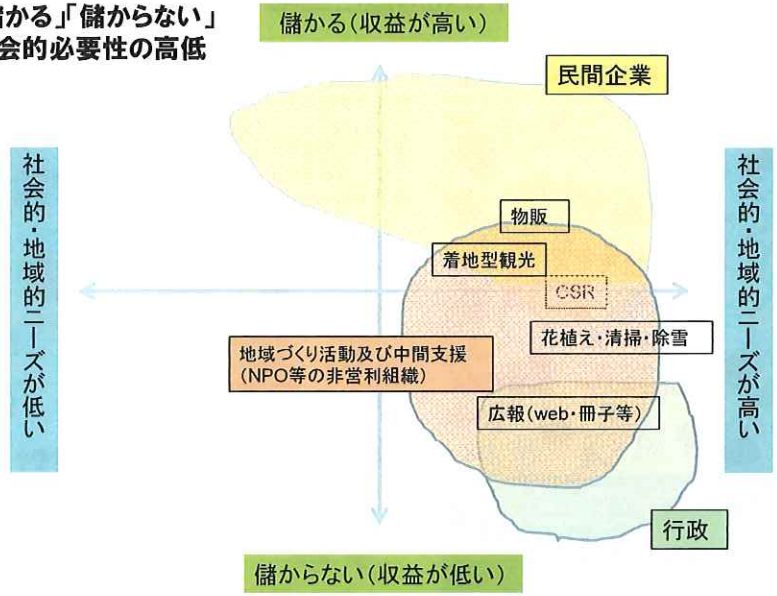
近年、有効な駆除方法が開発された！

方法：キツネに駆虫薬を飲ませて、体内からエキノコックスをなくし、それによってヒトへの感染を減らす

4. 企業との連携

Scenic Byway HOKKAIDO

「儲かる」「儲からない」と、社会的必要性の高低



民間企業との包括連携協定締結

Scenic Byway HOKKAIDO

・平成２４年１２月１日：トヨタレンタリース札幌、札幌グランドホテル、
北海道コカ・コーラボトリング、Follow Me Japan.Pte.Ltd.

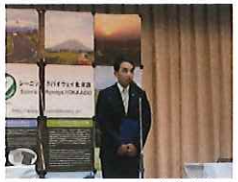
トヨタレンタリース札幌

札幌グランドホテル

Follow Me Japan. Pte. Ltd.
（シンガポール旅行会社）

北海道コカ・コーラボトリング

・平成２５年６月２４日：デンソーセールス北海道支社、鶴雅グループ 阿寒グランドホテル


デンソーセールス北海道支社

鶴雅グループ阿寒グランドホテル

民間団体・企業等との効果的連携活動

Scenic Byway HOKKAIDO

北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクレーション資源等地域資源を最大限活用し、競争力のある美しく個性的な北海道の実現を図ることを目的として、双方の資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定を締結し、シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図る。

・連携・協力事項

（１）シーニックバイウェイ北海道による**地域活性化に関する取組**

（２）シーニックバイウェイ北海道の**広報及び啓発に関わる取組**

（３）シーニックバイウェイ北海道の**人材育成やネットワーク形成に関わる取組**

（４）**競争力のある美しく個性的な北海道の実現に関する取組**

（５）その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組

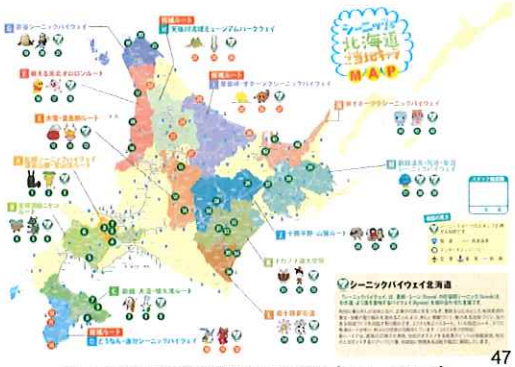
トヨタレンタリース札幌

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイ&北海道ご当地キャラスタンプラリー

・開催期間：H25.7.27～H25.10.14

トヨタレンタリース札幌でレンタカー、もしくはリース車をご利用された方に「スタンプラリー帳」を配布し、シーニックバイウェイ北海道ルートを巡り、ルート内の各スポットに設置されたご当地キャラやシーニックロゴマークスタンプを押印し、スタンプラリーを参加された方に、抽選で各ルートのご当地特産品をプレゼントするという企画。



シーニック＆北海道ご当地キャラスタンプラリー「マップ」

札幌グランドホテル

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイ北海道のPR活動と地域特産品の活用

「レストラン・ノード43℃」の朝食バイキングにて、ルート内の地域食材や特産品を活用したメニューの提供

第1弾
2012年7月2日 提供開始
シーニックバイウェイ北海道「萌える天北オロロンルート」より
「増毛町 甘エビの刺身」「天塩町しじみの味噌汁」

第2弾
2012年9月2日 提供開始
シーニックバイウェイ北海道
「東オホーツクシーニックバイウェイ」より
「網走産スケソウタラのすり身の味噌汁」

札幌グランドホテルの定期刊行物※での美味しい寄り道"レストランフェア特集記事

"美味しい寄り道"レストランフェアの主な食材

北海道コカコーラボトリング

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイ北海道への協賛

■人と未来をつなぐ１００年の木プロジェクト
十勝平野と大雪山の北海道限定デザイン缶の販売
地域連携によるコーヒー缶サンプリング配布

■ スタンプラリー等への協賛

Follow Me Japan.Pte.Ltd.

Scenic Byway HOKKAIDO

シーニックバイウェイルートを巡るドライブツアーの企画、旅行商談フェアーでのPR

■シーニックルートを巡る北海道ドライブツアーを企画

■シンガポール旅行商談フェア（ＮＡＴＡＳ）

企業のCSR活動との連携

Scenic Byway HOKKAIDO

民間企業は企業の社会的貢献活動（CSR活動）の一環として、地域づくりの応援に積極的に取り組んでいます。
ツアーに必要なボランティアスタッフや、備品（スコップや飲料など）のほか、スツアーの趣旨に賛同してくれれば、協賛金を出してくれることもあります。

企業連携による三笠市雪はねボランティアツアー

ツアーの収支

【支出】

◆バス１台の運行委託費	10万円～
◆旅行代理店の手数料	2万円位
◆昼食費（700円×40人）	2.8万円
◆温泉代（800円×40人）	3.2万円
◆保険代（100円×40人）	0.4万円
◆カーボンオフセット代	0.8万円
◆手数料（添乗含む）	2.8万円
合　計	22万円

【収入（参加者が40人の場合）】

◆バス代（研究会負担）	12万円
◆参加費（2,500円×40人分）	10万円
合　計	22万円

レスキュウから地域づくりへ　！！

Scenic Byway HOKKAIDO

札幌からの若い女性らが雪はねツアーに参加したところ･･･

参加者よりも張り切ってます･･

受入地域の人たちは、また来て欲しいと心からのおもてなし。
冬だけでなく、夏にも来て欲しい！　⇒　夏ツアーの開催へ

地域づくりツアー

Scenic Byway HOKKAIDO

地域づくりツアー

Scenic Byway HOKKAIDO

「農」体験ツアー in 倶知安
そして新商品開発

ご静聴ありがとうございました！

是非、「廃棄物処理団体」の皆様ともシーニックバウェイ北海道の活動を通して、連携していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

Scenic Byway HOKKAIDO